

第3学年	教科名	使用教科書	光村図書 国語3	担当教員	森 一真
------	-----	-------	----------	------	------

付けたい 資質・能力	意図を発信できる語彙力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能を身につけ、様々な場面で活用する力を取得しているかを評価する。	・定期テスト ・小テスト
		思考・判断 ・表現	言語を通して正確に理解したり適切に表現する力や、言語をてがかりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力がついているかを評価する。	・定期テスト ・レポートや新聞作成といった、「学習した事項を活用して取り組む」課題
		主体的に学習に取り組む態度	授業の課題や目標を達成するために自分が工夫して取り組んだことや意識したことを振り返ることができるかや、学習によって得た新たな見解や自身の変容について捉えることができるかを評価する。	・振り返りシートの記述 ・課題への取組

【授業の進め方(授業のポイント)】 物語文や論説文、古文の読み取りを通して様々な人々の経験や考え方に触れ、時に寄り添い、時に批判をしながら、自身の「考え方」を形にしていきます。 授業の中で触れる漢字や文法、ことわざなどを身につけることは、自身の「考え方」をより豊かに、正確に表現するために必要なものです。「ただ暗記して終わるもの」ではなく、「日常でどのように使うか」を考えながら身につけていきましょう。 国語科は「正解が一つとは限らない教科」です。それだけに、「自分の考え方を表現する力＝豊かな自己表現力」が求められる教科です。この1年間で、この「豊かな自己表現力」を身につけてほしいと思います。	【家庭学習について】 ・教科書を読んで意味が分からなかった語句の意味調べをしておくだけでも、【学習目標】の(1)の達成に繋がります。 ・本や新聞などの文章を読んで様々な人の考え方に触れ、それについて思いを巡らせることが(2)の達成に繋がります。ぜひたくさんさんの文章に触れてください。 ・模試や受験では、「初めて見る文章」を読んで、問題に取り組むことになるので、なるべく色々なジャンルの文章を読み、たくさんさんの問題を解いていくことが大切です。
--	--

1学期		2学期		3学期	
1 深まる学びへ	世界はうつくしいと握手 学びて時に之を習ふー「論語」から	4 状況の中で	挨拶ー原爆の写真によせて 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語	7 価値を生み出す	それでも言葉を合意形成に向けて話し合おう
2 視野を広げて	作られた「物語」を超えて 思考のレッスン 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書こう	5 自らの考えを	複数の意見を読んで考えよう 考えを効果的に伝えよう 初恋	8 未来へ向かって	温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで
3 言葉とともに	俳句の可能性 俳句を味わう 和語・漢語・外来語	6 いにしえの心を受け継ぐ	古今和歌集 仮名序 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草ー「おくのほそ道」から		

第3学年	教科名	使用教科書	「中学生の歴史」「中学生の公民」(ともに帝国書院)	担当教員	岩橋 優樹・佐々木 啓輔
------	-----	-------	---------------------------	------	--------------

付けたい 資質・能力	社会参画力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・他者との対話、諸資料と向き合うことで、当たり前と思っていることを問い直したり、捉え直す。 ・社会的事象に対して抱いた課題を、自分の力で批判的に解釈・評価する。 ・時間をかけて深く考える中で、自分の考えを深めて、自分の将来を見据えて考え続けていく。	【学習目標】 ・社会参画するための力の基礎を身に付ける。 →これからの社会の創り手として、社会の中で活躍・貢献する。 ・よりよい社会を作るために主体的に社会と関わること。 →社会のことがらを自分事として捉える。	知識・技能	○社会的事象について(～は～である)理解し、その知識を身につけている。 ・用語・語句や特色・意味など概念に関わる知識 ○社会的事象などについて調べ、まとめる技能をつけている。 ・課題の解決に必要な情報を集める。【収集する】 ・収集した情報を見方・考え方を働かせて読み取る【読み取る】 ・読み取った情報を課題解決に向けてまとめる【まとめる】	・定期テストの点数 ・ワーク ・パフォーマンス課題
		思考・判断 ・表現	○【思考力・判断力】に関わって ・社会的事象をとらえ、社会的事象の意味や意義、それぞれの関連について、考察する。 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想(複数の立場や意見を踏まえて選択・判断)している。 ○【表現力】に関わって ・適切な資料・内容や表現方法を選び、根拠や理由を明確にして、論理的に説明する。 ・仲間との話し合いで、仲間の主張を踏まえたり、取り入れたりして、立場や根拠を明確にして主張・議論している。→社会参画の視点	・定期テストの点数 ・パフォーマンス課題
		主体的に学習に 取り組む態度	○学習単元・課題について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。 ・単元の「見通し」をもつ ・他者と協働しながら粘り強く考える(試行錯誤しながらでも考えを持つ) ・振り返りて学んだことの意味について考える。 ○よりよい社会を考え、学んだことを生かそうとする。 ・学んだことを、社会生活にどう生かそうとするか。 ・よりよい社会を創るために、自分で「新たな問い」を作る	・振り返り ・パフォーマンス課題

【授業の進め方(授業のポイント)】 ＊基本的には、教科書に沿って教科書のページ順に学習する。 ＊進度の目安は1時間で見開き2ページ進めることを原則とする。 ＊ノートを書く際に、「疑問に思ったこと」、「学んだこと」など、個人で考えることを積極的にメモを取って大切にすること。 →自分で考える習慣が自分を「深化」させ、振り返りを書くための手立てとなる。	【家庭学習について】 ＊自主学习ワークと3年間の総復習は、1つずつ○つけまですること。 ・まずは自分の力で取り組むこと。漢字で分からないものは、かな交じりで書く。 ・その後、教科書を見て分からなかったところを解く。→正しい漢字に訂正する。 ・最後に答え合わせをして、教科書を見ても分からなかった部分はチェックしておく。 ＊学習したことを多面的につなげるため社会的事象について、常に「アンテナ」を高く持つこと。
---	--

1学期		2学期		3学期	
【歴史的分野】 第4章 近代国家の歩みと国際社会 第5章 二度の世界大戦と日本 第6章 現在に続く日本と世界	・帝国主義と日本 ・アジアの強国の光と影 ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・高まるデモクラシーの意識 ・戦争に向かう世論 ・第二次世界大戦の惨禍 ・敗戦から立ち直る日本 ・世界の多極化と日本の成長 ・これからの日本と世界	【公民的分野】 第1部 現代社会 第1章 現代社会と私たち 第2部 政治 第1章 日本国憲法と私たち 第2章 政治と私たち 第3部 経済 第1章 経済活動と私たち	・現代社会の特色 ・私たちの生活と文化 ・現代社会をとらえる枠組み ・民主主義と日本国憲法 ・基本的人権の尊重 ・法の支配を支えるしくみ ・民主政治と私たち ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち ・経済のしくみと消費 ・企業と生産 ・市場経済と金融のしくみ	【公民的分野】 第3部 経済 第1章 経済活動と私たち 第4部 国際 第1章 国際社会と私たち 3年間の総まとめ	・財政と私たち ・日本経済の課題とこれから ・国際社会のしくみ ・地球的課題とその解決

第3学年	数学	使用教科書	新編 新しい数学3(東京書籍)	担当教員	小西 遼・野呂 潤平
------	----	-------	-----------------	------	------------

付けたい 資質・能力	論理的思考力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・筋道立てて考える力、見通しを持つ力 ➡ 計画性 ・単純化、一般化して考える力 ➡ 効率的・合理的な考え方 ・深く考える力 ➡ 思慮深さ・粘り強さ 【学習の目標】 ・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。 ・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。		知識・技能	・基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	定期テスト 小テスト
		思考・判断 ・表現	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	定期テスト 小テスト レポート課題
		主体的に学習に 取り組む態度	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ・多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	レポート課題 自己評価表 課題への取り組み

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・ノートの取り方を工夫する。 ➡ 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことも記述する。 ・分からないことを質問する。 ➡ 授業で分からなかったことは、そのままにせず必ず質問をして理解する。 ・授業の振り返りをする。 ➡ 授業の振り返り(自己評価表に記入)をすることで、授業のポイントだけでなく、今の自分の学習状況やこれからの学習の進め方についても振り返る。	【家庭学習について】 ・問題を解くときは、後で間違えた箇所が分かるように途中式を書く。 ・間違えたり分からなかったりした問題は、自力で解けるようになるまで繰り返し解く。 ・分からない問題は分かるまで周りの人や先生に聞く。
--	--

1学期		2学期		3学期	
1章 式の展開と因数分解	1節 式の展開と因数分解 2節 式の計算と利用	4章 関数 $y=ax^2$	1節 関数とグラフ 2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 3節 いろいろな事象と関数	7章 三平方の定理	1節 直角三角形の3つの辺の関係 2節 三平方の定理の利用
2章 平方根	1節 平方根 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	5章 図形と相似	1節 図形と相似 2節 平行線と線分の比 3節 相似な図形の計量 4節 相似の利用	8章 標本調査とデータの活用	1節 標本調査
3章 二次方程式	1節 二次方程式 2節 二次方程式の利用	6章 円の性質	1節 円周角と中心角 2節 円の性質の利用		

第3学年	教科名	使用教科書	未来へひろがるサイエンス3(啓林館)	担当教員	梅田剛 西尾雅至
------	-----	-------	--------------------	------	----------

【身につく力】 (1)主体的に自然事象とかかわり、それらを科学的に探究しようとする態度。 (2)観察・実験を実行し処理する力、その結果を分析・解釈する力。そしてそれらの関係性や傾向を見だし、課題や仮説を設定する力。 (3)学んだことを次の課題や日常生活や社会に活用しようとする態度。	評価	評価の観点	評価の方法
	知識・技能	見通しをもって観察、実験などを行い、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解するとともに、探究の過程を通して科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・定期テスト ・実験レポート ・パフォーマンス課題
	思考・判断・表現	見通しをもって観察、実験などを行い、その結果(や資料)を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性を見出して表現している。また科学技術の利用の在り方について、探究の過程を通して科学的に考察して判断している。	・定期テスト ・実験レポート ・パフォーマンス課題
【学習目標】 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。生命や地球に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとしている。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。	・振り返りシート(学習前と学習後の比較) ・定期テスト振り返りシート ・問題集 ・授業ノート

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・ノートの取り方を工夫する。 評価物に書かれているノートですが黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことも記述するように意識してください。家庭での学習の際に、どこが重要かが自分で分かるようにマーカーを使用した強調、ポイントのまとめ欄を作成する等、自分だけのノートが作成できるといいでしょう。 ・観察・実験レポートや課題 観察・実験を行った際にレポート課題を出します。その際、授業内でおこなったことを忘れないようにできる限り当日に仕上げることをおすすめします。また、考察は自らが考え察したことを記入するものであるため、他の人の記述をまねするのではなく、自ら考えたことを書くようにしてください。考察での自身の考えが正しいか、間違っているかは重要ではありません。観察・実験を通して考えたことを自らの言葉で表現する力を身につけて欲しいと考えています。 ・分からないことを質問する。 授業で分からなかったことはそのままにせず、友人や教員必ず質問をするようにしましょう。	【家庭学習について】 ・家庭では、復習に重点を置いて計画的に勉強をしてください。能率的に勉強するためには、1週間ごとの内容を見直し、大切な語句や公式を覚えておくのがよいでしょう。そのときには、「まとめノート」を作成する方法が効果的です。 また、定期テスト(中間・期末)については、少なくとも1週間前から取り組み、ノートと教科書で復習した後、副教材である「理科の学習3」の問題や、教科書に載っている問題を解いて理解できているか確認するようにしましょう。
---	--

1学期		2学期		3学期	
【生命】 生命の連続性 【エネルギー】 運動とエネルギー	1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー	運動とエネルギー 【物質】 化学変化とイオン 【地球】 宇宙を観る	4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	宇宙を観る 【環境】 自然と人間	2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして

第3学年	音楽	使用教科書	中学生の音楽2・3下・中学生の器楽	担当教員	平田 麻美
------	----	-------	-------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	音楽表現力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・しっかりとした発声で仲間と豊かな響きで歌う力(歌唱・合唱) ・アルトリコーダーの運指を理解して演奏する力(器楽) ・音楽の良さを味わい、魅力を文章で表現する力(鑑賞) ・音符やリズムの組み合わせを工夫する力(創作)	【学習目標】 ・曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身につける。 ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	知識・技能	歌唱や合唱、アルトリコーダー、創作などの表現活動では知識と技能を評価し、鑑賞活動では知識を評価します。	実技テスト (歌唱・合唱、アルトリコーダー) 定期テスト
		思考・判断 ・表現	表現活動では、表現を創意工夫しているかについて評価します。鑑賞活動では音楽を形づくっている要素をもとにしながら、音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲の魅力などを文章にして評価します。	鑑賞曲の各ワークシート (歌舞伎・ブルタバなど) 合唱のワークシート (手紙など合唱曲)
		主体的に学習に 取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。	振り返りシート (歌唱・合唱、鑑賞、アルトリコーダー、創作)

【授業の進め方(授業のポイント)】 ①歌唱・合唱や器楽では、ある程度の練習を重ねると実技テストを実施します。練習の成果を発揮できるように、練習を大切にしましょう。また、お互いの表現を認め合い、実技テストでのびのびと表現できる雰囲気をつくりましょう。 ②鑑賞では、音楽の構造や雰囲気を感じ取りながらよさや美しさを味わい、曲の魅力を文章で表現しましょう。 ③創作では、四分音符や四分休符、八分休符をつかって簡単なリズム創作をします。それをもとに歌詞の創作、メロディーの創作とつなげていきます。創作のテーマに沿って、自分なりの工夫をしましょう。	【家庭学習について】 授業で学んだことを復習して、理解を深めましょう。 様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。
---	--

1学期		2学期		3学期	
【歌唱・合唱】	合唱曲「手紙」	【歌唱・合唱】	「※ 未定」	【歌唱・合唱】	合唱曲「旅立ちの日に」
【鑑賞】	「展覧会の絵」	【鑑賞】	「ブルタバ」	【鑑賞】	「ボレロ」
【アルトリコーダー】	「ラヴァースコンチェルト」	【アルトリコーダー】	「ラヴァースコンチェルト」	【アルトリコーダー】	「蛍の光」
【創作】	リズム・歌詞・音程	【創作】	リズム・歌詞・音程		

第3学年	教科名	使用教科書	美術2・3(光村図書)	担当教員	藤川真奈美
------	-----	-------	-------------	------	-------

付けたい 資質・能力	表現方法を工夫し、創造的に表す力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	・創作に必要な知識と技能を身につけ、自分の制作に生かしているか。 ・自分の作りたいものを、工夫して創造的に作っているか。	作品 ワークシート 定期テスト
		思考・判断 ・表現	・自ら作品のテーマやアイデアを発想し、それを深めて制作しているか。 ・作品を鑑賞したり他の人の意見を知るなどして、良さや新しい発見を感じ取れるか。	作品のデザインやアイデア 定期テスト ワークシート
		主体的に学習に 取り組む態度	・もの作りを楽しみ、丁寧に仕上げようと工夫して、資料の収集、制作活動の計画や作品の完成に向けて、創意工夫が出来ているか。 ・自分の目標に向かって、新たな気づきや学びを得ているか。	作品への取り組みの様子 ワークシート

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・様々な芸術作品を鑑賞し、自身の制作を工夫する。 (こんな作品を作ってみたい、どうやってつくるかなど、探求して作品を作っていく) ・さまざまな感性や表現があることを知り、表現を楽しんだり深めたりする。 ・授業ごとに学習を振り返り、気づきや思考の深まりを具体的に記録していく。 ・一人一人目標を持ち、表現を楽しみながら、自己の力を伸ばせるように工夫する。	【家庭学習について】 ・作りたいもののイメージを持ち、日常生活の中でアンテナを張って過ごす。 ・作りたいものが決まったら、情報や資料を積極的に収集する。
--	---

1学期		2学期		3学期	
鑑賞「世界の名画」	葛飾北斎、ゴッホ、セザンヌ、シャガール、ルネ・マグリット、フェルメールの作品の特徴と時代背景、作品の魅力について学ぶ。	鑑賞「岡本太郎／草間彌生」	現代芸術について理解を深め、立体的なオブジェの造形美を鑑賞する。	鑑賞「ピカソ」	「キュビズム」について学習し、ピカソの伝えなかった想いや発想について理解する。
模写 制作	模写を通して、作者の描画や彩色の工夫について学び、各自で目標を設定して制作する。	ゴム版の制作	デザインを工夫して判子を作り、オリジナルの手ぬぐいを制作する。	絵巻物と漫画の表現	絵巻物の歴史と漫画表現の工夫について味わい、自分の表現の工夫につなげる。

第3学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育	担当教員	荒木 宣・上村 詢也
------	------	-------	---------	------	------------

付けたい 資質・能力	課題を解決する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 基礎的・基本的な体力 自身の目標に向けて挑戦する力 仲間と協力して課題を解決する力 健康的な生活を送るための力		知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身や他者の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動 で仲間の課題や出来映えを伝えて いるかを観察
		主体的に学習に 取り組む態度	各領域に積極的かつ自主的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健プリントの記述内容

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 ・基礎的・基本的な技術を習得し、試合や記録会で身に付けた力を発揮できるようにする。 ・話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康的な生活を送ること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動 陸上競技 球技	新体力テスト 集団行動 ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び ソフトボール	【体育】 器械運動 ダンス 武道 陸上競技 【保健】 5章 健康と環境	マット運動か跳び箱運動の選択 創作ダンス 柔道 長距離走 環境への適応能力、活動に適する環境、 飲料水の衛生的管理、 室内の空気の衛生的管理、 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	【体育】 球技 【保健】 6章 健康な生活と疾病の予防③ 【体育理論】 3章 文化としてのスポーツ の意義	サッカー、バスケットボール 感染症の広がり方、感染症の予防、 性感染症の予防、エイズの予防、 医薬品の利用、保健・医療機関の利用、 健康を守る社会の取り組み、 保健の学習を振り返ろう 現代社会におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会の役割 人々を結びつけるスポーツ

第3学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育	担当教員	伊藤 亜佐子
------	------	-------	---------	------	--------

付けたい 資質・能力	課題を解決する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 基礎的・基本的な体力 自身の目標に向けて挑戦する力 仲間と協力して課題を解決する力 健康的な生活を送るための力		知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身や他者の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動で仲間の課題や出来映えを伝えて いるかを観察
		主体的に学習に 取り組む態度	各領域に積極的かつ自主的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健プリントの記述内容

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 ・基礎的・基本的な技術を習得し、試合や記録会で身に付けた力を発揮できるようにする。 ・話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康的な生活を送ること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動 器械運動 球技	新体力テスト 集団行動 マット運動か跳び箱運動の選択 バレーボール	【体育】 陸上競技 武道 陸上競技 ダンス 【保健】 5章 健康と環境	ハードル走 走り幅跳びか走り高跳びの選択 柔道 長距離走 創作ダンス・現代的なリズムのダンス 環境への適応能力、活動に適する環境、 飲料水の衛生的管理、 室内の空気の衛生的管理、 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	【体育】 球技 【保健】 6章 健康な生活と疾病の予防③ 【体育理論】 3章 文化としてのスポーツの意義	バスケットボール サッカー 感染症の広がり方、感染症の予防、 性感染症の予防、エイズの予防、 医薬品の利用、保健・医療機関の利用、 健康を守る社会の取り組み、 保健の学習を振り返ろう 現代社会におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会の役割 人々を結びつけるスポーツ

第3学年	教科名	使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	担当教員	大槻 晃央
------	-----	-------	-------------------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	社会の変化に対応する力 ～情報の高度化・多様化する社会の中で～	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	<知識> コンピュータの構成や機能についての知識を身に付けている。作物、動物及び水産生物の成長、生態についての知識を身に付けている。 <技能> プレゼンテーションソフトウェアにおいて、図式化を意識した資料作りができていないか。プログラミングにおいて、自分の構想した通りの作品ができていないか。	定期テスト 小テスト ソフトウェアの操作 (PowerPoint) HTML (プログラミング)
		思考・判断・表現	情報及び生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。 →プレゼンテーションソフトでの資料作りにおいて、見やすさを考えたレイアウトが意識できているか。生物育成において、作物の観察・分析ができていないか。	定期テスト 振り返りシート (内容) 豆苗観察レポート (内容)
		主体的に学習に取り組む態度	進んで情報及び生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 →身の回りにあるネットワークや生物育成の技術を知り、これまでどのような問題を解決してきたかを調べたり、実習に意欲的に参加しているか。	プリントの記述 実習感想シート (内容) 振り返りシート (内容)

【授業の進め方(授業のポイント)】 ○板書を丁寧にしながら、授業内での補足や説明をしっかりとメモしていくこと。 →大事な単語をプリントに記入する。自分の考えを書くスペースは間違っても良いので、そのとき考えたことを記入する。補足として、例え話や由来などを話すので、メモ欄や空いたところにメモをとれば、見返したときにわかりやすいプリントに仕上がる。 ○実習では、使い方の説明や教室モニターの作品例を参考にすること。 →操作の説明プリントをしっかりと見る、教室のモニターで説明したり、作品例を映し出すので、参考にすること。わからないことは積極的に質問すること。 ○振り返りカードを丁寧に記入すること。 →授業で学んだこと、疑問に思ったこと、質問などを記入しておけば、チェックした際、質問にコメントできたり、次の授業で全体に補足をしたり、個別で机間指導するなど、教師側も授業改善や修正ができます。各週の授業なので、実習のときには、次の目標や予定を記入しておくこと、どの作業から始めれば良いかがすぐに思い出せて、スムーズに作業に取りかかれる。	【家庭学習について】 ○プリントの単語だけを見るのではなく、説明できるくらい意味も確認しておく。 →プリントに書いた補足や由来のメモが活きる。 ○実習で使ったソフトの使い方、決まりなどは必ず振り返っておくこと。 →定期テストや次回の実習に活かせる。 ○高校の説明会などで利用されているスライドの見やすさや伝わりやすさを意識して見てみる。日常生活の中で、作物を育てる時期を考えようとする。スーパーで売られている野菜や果物の値段などを見る。→学習への理解が深まる。
---	--

1学期		2学期		3学期	
情報 (1)生活や社会を支える情報の技術	①情報通信ネットワークの仕組み ②コンテンツを構想しよう	生物育成 (1)生活や社会を支える生物育成の技術	①動物を育てる技術 ②水産生物を育てる技術 ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④これからの生物育成の技術	情報 (3)計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決 技術分野の学習を終えて	①計測・制御システムとは何だろう ②計測・制御システムを構想しよう ③計測・制御システムのプログラムを制作しよう ④学んだことを社会に生かす
生物育成 (1)生活や社会を支える生物育成の技術	③生物育成の技術とは何だろう ④作物の育成環境を調節する技術 ⑤作物の成長を管理する技術	(2)生物育成の技術による問題の解決 (3)社会の発展と生物育成の技術			

第3学年	教科名	使用教科書	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）	担当教員	栗栖 淳子
------	-----	-------	---------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	社会の変化に対応する力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	消費分野・保育分野についての基礎的な理解と、それらに係る技能が身についているか。また家族や地域、そして社会との関わりについて理解できているか。	定期テスト 実習の様子 作品 レポート（内容）
		思考・判断 ・表現	現代または将来の生活から自分や家族の問題を見いだして課題を設定し、より良くする方法をを考えて実践・改善しながら課題を解決する力を身に付けているか。	定期テスト ワークシート（内容） レポート（内容）
		主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた課題の解決に向けて、深く考えて粘り強く取り組み、振り返って改善することで生活の中で実践しようとしているか。	振り返りシート（内容） 実習プリント（内容） レポート（内容）

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・説明をしっかりと聞く。→ 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたこともメモし、分からないことは質問する。 ・その時間の課題に挑戦する。→ 苦手な活動でも挑戦する。実習ではグループの様子を観察したり見本をよく見て、アドバイスを参考にしながら根気強くやってみる。グループでの交流や、協力することも大切にする。 ・授業の振り返りをする。→ 授業の振り返りをするこて、授業のポイントだけでなく今の自分の課題やこれまでの学習の進め方についても振り返りをする。	【家庭学習について】 ・学習したことを家庭や地域でも実践し、生活の改善をしていく。 → 授業の学習内容について実践力を高める。 ・時事問題に関心を持ち、家族や社会と自身の生活のつながりを考えていく。 → 授業の学習内容について考えを深める。
--	---

1学期		2学期		3学期	
4編1章 私たちの消費生活	○消費生活 「計画的な金銭の管理」	5編2章 幼児の生活と家族	○幼児の生活と家族 「幼児の生活とおもちゃ」 「布のおもちゃを作ろう」（制作実習） 「子どもにとっての家族」 「幼児のおやつを作ろう」（調理実習）	5編3章 これからの家族 と地域	○高齢者の体の特徴 ○高齢者との関わり
5編2章 幼児の生活と家族	○幼児の生活と家族 「幼い頃を振り返ろう」 「幼児の心身の成長」 「幼児と触れあおう」（保育実習）	4編1章 私たちの消費生活	○消費生活と環境 「消費者トラブルとその対策」 「消費者の権利と責任」		

第3学年	教科名	使用教科書	三省堂 ニュークラウン3	担当教員	方山 海
------	-----	-------	--------------	------	------

付けたい 資質・能力	自分の思いや考えを基に創造する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 聞くこと・・・必要な情報・概要・要点を聞き取ることができる。 読むこと・・・必要な情報・概要・要点を読み取る、または捉えることができる。 話すこと[やりとり]・・・関心のある事柄について、即興で伝え合うことができる。 話すこと[発表]・・・関心のある事柄について、即興で話すことができる。 書くこと・・・関心のある事柄について、正確に書くことができる。	【学習目標】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。	知識・技能	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、その内容を捉え、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする技能を身に付けている。	定期テスト パフォーマンステスト
		思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や概要、要点を聞いたり、読んだりして捉えている。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話したり、書いたりしている。	定期テスト パフォーマンステスト
		主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、言語活動を通して主体的に伝えようとしている。	パフォーマンステスト

【授業の進め方(授業のポイント)】(すべて言語活動を通す) ①スモールトーク等で単元または本時に関連づかせ、関心のある出来事や、日常または社会の出来事について、個別または協働的に考えながら話す、または書く。 ②単元または本時のゴールの確認を行い、見通しを持つ。 ③教材に基に、知識・技能を身につける活動(例:新出単語を使った言語活動)を通して指導する。 ④教材を基に、身につけた知識・技能を活用し、言語活動を通して(自分事とし考え)書くこと及び話すことについての課題に取り組む。 ⑤ふり返り:ゴールに照らし、どんなことができるようになったのかを振り返る。	【家庭学習について】 <u>個別最適な学びを充実するため、</u> ○テラトークを活用し、五領域を活用できるような課題を提示する。(学習時間の把握) ○生徒自らが主体的に取り組めるような「自身の課題」にもとづいた課題に取り組む。
---	--

1学期		2学期		3学期	
Lesson 1 Join Us	海外の中学生に向けて、最近夢中になっていることを紹介する動画を作る ○現在完了形	Lesson 4 Bollywood Movies	海外の映画を観るなら、字幕付きと吹き替えのどちらが良いか書く ○後置修飾(現在分詞・過去分詞)	Listen 5 Read 1	国立公園のガイドの説明を聞いて、要点を捉える スキーツアーの案内を読んで、必要な情報を捉える
Listen 1 Talk 1	駅のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉える 電話をかけて友達を誘う	Listen 3 Talk 3	バスのアナウンスを聞いて、必要な情報を捉える 困っている人に手伝いを申し出る/状況を説明する	Lesson 8 For Our Future	外国語と関わりながら生活する人々の体験談を読み、要点を捉える ○間接疑問
Lesson 2 The Power of Music	「おすすめ曲」というテーマで投稿記事を書く ○現在完了進行形 ○help + A + 原形動詞	Lesson 5 Translating Culture	英語版のウェブサイトに掲載する4コマ漫画を翻訳する ○関係代名詞主格	Read 2	市民ホールイベント案内を読み、必要な情報を捉える
Listen 2 Talk 2	遊園地のアナウンスを聞いて要点を捉える 遊園地や水族館の混雑状況を見て、次の行き先について話し合う	Listen 4 Talk 4	ニュースを聞いて、概要を捉える ゲームをする時間や、寝る時間について話し合う	Project 3 10年後の自分へのメッセージ	10年後の自分へのメッセージ動画を作る
Lesson 3 Cranes for Peace	佐々木禎子さんの人生について書かれた物語を読む ○受け身	Lesson 6 Being Fair	「公平」について紹介する記事を読んで、要点を捉える ○関係代名詞目的格		
Project 1 旅行プランの提案	相手の要望に応じた旅行プランを提案する	Project 2 ラジオの30秒CM	ラジオで流す目覚まし時計の30秒CMを作る		
Reading Lesson 1	音楽について書かれた記事を読んで概要を捉える	Reading Lesson 2 I Have a Dream	アメリカの公民権運動とキング牧師について書かれた記事を読んで、概要を捉える		
		Lesson 7	商店街の問題に対応するために、注意事項の掲示のアイデアを話		